



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
 2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
 パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

週報

第428回例会 2月14日(火)AM 7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間
 ■司会:高木一浩 ■点鐘:坂井 光蔵 ■ロータリーソング:それこそロータリー

会長挨拶

先週は仕事で九州へ出張でした。その折、フェニックスCCIにてゴルフをしてきたのですが、新年の調子はどうしてしまったのか、スコアー 111とひどい目にあいました。11日にパワーも後援している「建国記念の日」の奉祝式典に出席しました。式典の後、占部賢志(中村学園大学教授)氏の講演を聴きました。その話は、2月11日がなぜ「建国記念の日」なのかという事でした。今年が紀元2672年ですが、基準とした年は西暦601年と云う事でした。推古天皇の時代に聖徳太子が大改革を行い、十七条の憲法を制定したり、強国中国の隋と対等に外交や貿易を行うようになった時代です。この年より1260年前が、日本武尊(ヤマトタケル)が国を造ったとされました。また、日本人の美しさと言う話で、第一次大戦後、多くのシベリアのポーランド人孤児を救った話を聴きました。ポーランドは18世紀後半、ロシア・オーストリア・プロイセンの3国によって領土を奪われ消滅しました。その後、独立運動を繰り広げますが、多くの方は捕まりシベリアに送られました。120年程後、第一次大戦によってドイツは負け、ロシアは革命によってソ連となったが、シベリアに残された100,000人程のポーランド人は祖国に帰ることができませんでした。飢えと病と凍傷に侵された孤児たち765名を救出し、献身的な看護の後、全員をポーランドに送り届けたと云う事でした。

委員会報告

2620地区 国際奉仕委員会 八田 峰夫

現在、2620地区の国際奉仕委員会に出向しています。仕事内容は青少年の交換留学に関する事で、5年目になります。ヨーロッパとオーストラリアを担当しています。仕事はジョーさんに手伝ってもらっています。とっても助かっています。震災の影響も少なく、現在2名の留学生が来ています。おかげさまで、次年度も3人の交換留學生が決定しました。今後は、地区の国際奉仕委員会がどのような活動をしているのか、青少年交換留学について積極的にPRしていきたいと考えています。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



サプライズ朝食
朝ラーメン

出席

94名中69名75.0%
前々回修正出席率82.6%



幹事報告

- (1)第429回例会はIMとなります。会場は、ホテルコンコルド浜松で17:00からの受付となっていますので、お間違えのないようにお願いします。
- (2)本日は例会終了後に、第8回理事会を3階メイフェアの間で開催致します。関係者の皆様は宜しくお願ひします。
- (3)今年度は当クラブから地区4名の会員が出向していますが、2620地区から2012-2012年度出向者への委嘱状が届いておりますので会長より委嘱状の授与をさせていただきます
 ①八田峰夫会員一次期国際奉仕委員会委員長
 ②Rビージョセフマテュー会員「一次期青少年交換小委員会委員
 ③原田道子会員一次期奨学金・小委員会会員
 ④福地三則会員一次期広報・IT推進委員会委員
 皆様には今後のご活躍を申し上げます。

スマイル報告

原田道子:2月9日中山パストガバナーの旭日小受賞パーティーに行ってきた。経済界からたくさんの方が来ていました。そして、次期ガバナーノミネーを保留した阿部さん、実際にノミネーになった岡本さんも来られていました。「地区で助けてね!!」と言われてしまいました。また地区で頑張る機会があるかな?若い人も地区で活躍してほしいですね!!

原田道子:おとといは富士市で、明日は掛川市で18(土)13:00は浜松アクトで、資産対策セミナーの講師をやります。確定申告で忙しい時ですが、資産対策は自信もあるし、大好きな仕事で充実しています。

河村正隆:おはようございます。NPO法人「浜松未来会議」の河村です。中心市街地活性化を目的として創られたNPO法人です。まず手始めに、浜松ジオラマファクトリー(=山田卓司館)を3月17日にOPEN 致します。詳細はチラシをご覧ください。応援宜しくお願い致します。

滝浪實:本日は卓話をさせて頂きありがとうございました。いざという時のため、少しは役に立ったでしょうか。皆様、一人一人の気構えが大事だと思います。



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

議事卓話

第428 回例会
2012年2月14日
青少年育成PJ

滝浪實さん卓話 「災害時の応急救護 トリアージについて」

トリアージ(とりあーじ)とは・・・

多数の負傷者が出る災害や事故、戦争などに際して救急隊員や医師が選別し、優先順位をつける行為。
日本では1995年(平成7)の阪神・淡路大震災で広く知られるようになりました。
救急需要が同時多発し、搬送手段や治療に制限がある状態では、できる限り多くの人命を救うには医療資源を効率的に配分する必要があります。
トリアージは負傷者を短時間で(1)最優先治療者、(2)非緊急治療、(3)軽処置、(4)不処置群に振り分け、荷札のようなトリアージタグを次々に患者の手首や足首につけていく。
タグには名前や年齢、血液型、簡単な症状を記入するが、多くの医療関係者が一目でわかるよう、赤、黄、緑、黒のカラー表示が一般的です。
最優先の赤は出血多量や気道閉塞(へいそく)など生命の危険が迫っており、緊急に手術や処置をすれば助かる見込みがある患者であり、ほとんど死亡状態か救命不可能の超重症者は黒で、処置は後回しになるわけです。



症例10：30才 男性	
受傷状況 トリアージ時所見	前方に突き飛ばされ、顔面を 座席の鉄パイプに激打した。 鼻骨変形、上顎骨陥凹、鼻出血、 口腔内出血多量、嘔吐排出困難。
バイタルサイン等	意識：混濁 歩行：不能 脈拍：110回/分 呼吸：22回/分

症例10 解答	
● トリアージ	赤(緊急)
● 意識障害、口腔内出血あり救護所 での気管挿管が必要。	
● 診断	上顎骨骨折、鼻骨骨折、脳挫傷

災害時だからと言って医療関係者や医薬品が急に増えるわけではないので、限られた人数で効率よく多くの患者を救うための取組です。
昨年の東北大震災では日本赤十字社が中心となって医療ボランティアをしました。
私たち開業医もチームを組んで震災ボランティアに参加しました。
災害時には、医師は苦渋の決断でトリアージをしているわけです。
どうか、我先に「自分だけを助けてほしい」など、身勝手な行動をとらず、慌てず、きちんとした判断をしていただきたいと思います。
大きな地震などが起きてしまった場合は、まず自分の身の安全を確保し、次に家族や近くの人を助け、その後、力があまっていたら、ぜひボランティアとして救護に参加していただきたいと思います。



今回のお話を聞いて、多くの事を考えさせられました。
自分に何ができるのか・・・
静岡県は大きな地震が来るといわれ続けています。改めて、会社や家庭で色々なことを話し合いたいと思いました。

末広さく